

(3) 専攻科目 ③畜産学部

科目名	専攻実習 I				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	畜産関係団体職員を実務経験者として招聘 畜産試験場職員、北部家畜保健衛生所職員、 農業大学校畜産学部職員					教室	畜産試験場他				
単位数	4	時間数	180	実習	コマ数	90	区分	必修			
科目目標	基礎的な家畜の飼養管理及び飼料作物の栽培に関する技術・知識を事例調査を含めて体験的に習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 家畜の飼養技術				(1)肉牛・乳牛・豚の飼養管理						
	2. 飼料作物の栽培				(1)播種・管理作業・収穫調製						
	3. 畜産関係施設事例調査				(1)生産施設事例調査 (2)加工・流通施設事例調査						
使用教材	講師が配布する資料、参考図書:「畜産用語辞典」(日本畜産学会編)										
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精師講習会受講時の免除科目										
講義日程	5/20(月)	5/21(火)	5/22(水)	5/23(木)	5/24(金)	6/3(月)	6/4(火)	6/5(水)	6/6(木)	6/7(金)	
	6/24(月)	6/25(火)	6/26(水)	6/27(木)	6/28(金)	10/21(月)	10/22(火)	10/23(水)	10/24(木)	10/25(金)	
	11/11(月)	11/12(火)	11/13(水)	11/14(木)	11/15(金)	12/6(金)	12/20(金)	1/20(月)	1/21(火)	1/22(水)	
	1/23(木)	1/24(金)	2/3(月)	2/4(火)	2/5(水)	2/6(木)	2/7(金)				

科目名	家畜生理解剖 I				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	家畜の生産性を向上するためには生体の構造や機能の理解が不可欠である。本科目は生体における構造及び機能について基本を理解する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 骨格の構造と生理				(1)骨の役割 (2)骨の発生と成長 (3)骨格の各部						
	2. 骨格筋の構造と生理				(1)骨格筋の配列 (2)骨格筋の構造と収縮能						
	3. 消化器の構造と生理				(1)口腔の構造(2)歯の構造 (3)唾液腺の構造(4)食塊の嚥下						
使用教材	「家畜の解剖と生理」(養賢堂)、講師が配付する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/20(月)	3校時	6/3(月)	3校時	6/24(月)	3校時	10/21(月)	4校時	11/11(月)	3校時	
	1/20(月)	3校時	2/3(月)	3校時							

科目名	飼養管理				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	畜産試験場職員 他 農業大学校畜産学部職員				教室	第1教室					
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	家畜飼養管理に必要な基礎知識と技術を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 家畜の管理				(1)家畜の正常時の行動 (2)家畜の健康状態の観察						
	2. 家畜と環境				(1)熱環境と家畜の反応 (2)物理的環境と家畜の反応 (3)環境制御の方法						
	3. 家畜の発情および分娩時の行動と管理				(1)発情前後の家畜の行動・特徴 (2)分娩前後の管理						
使用教材	「新版 家畜飼育の基礎」(農山漁村文化協会)、講師が配付する資料 参考図書:「家畜管理学」(養賢堂)										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精師講習会受講時の免除科目										
講義日程	5/23(木)	3校時	6/6(木)	3校時	6/27(木)	3校時	10/24(木)	3校時	11/14(木)	3校時	
	1/23(木)	3校時	2/5(水)	3校時							

科目名	飼料生産 I				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	畜産試験場草地飼料部職員				教室	第1教室					
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	飼料自給率の高い畜産経営を行うために必要な飼料の生産利用技術を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 飼料作物の栽培				(1)飼料作物の分類と特性 (2)飼料作物の栽培方法 (3)雑草の種類と防除						
	2. 飼料作物の利用				(1)飼料作物の収穫調製技術 (2)飼料作物による中毒症状						
	3. 飼料作物の収穫調製				(1)機械作業体系						
使用教材	講師が配付する資料、参考図書:「目で見える飼料作物のすべて」(酪農総合研究所)										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/23(木)	2校時	6/6(木)	2校時	6/27(木)	2校時	10/24(木)	2校時	11/14(木)	2校時	
	1/23(木)	2校時	2/5(水)	2校時							

科目名	畜産流通				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	畜産物や飼料について、流通や価格決定の仕組みについて学習する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 畜産物の流通				(1)畜産の動向 (2)生乳流通と価格決定 (3)食肉流通と価格決定 (4)鶏肉・鶏卵流通と価格決定						
	2. 飼料の流通				(1)飼料の流通と価格決定						
使用教材	3. 流通関連制度				(1)畜産物価格安定対策						
	講師が配付する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/20(月)	4校時	6/3(月)	4校時	6/24(月)	4校時	10/25(金)	3校時	11/11(月)	4校時	
	1/20(月)	4校時	2/3(月)	4校時							

科目名	家畜栄養				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	畜産試験場種豚家きん部職員					教室	第1教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	家畜の栄養管理は家畜の健康だけでなく経営をも左右する。本科目は、家畜飼養管理に必要な家畜栄養の特性及びその給与飼料の栄養価を理解し、効率的な栄養管理を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 家畜の消化吸収のしくみ				(1)家畜の栄養と栄養素 (2)消化と吸収 (3)物質代謝とエネルギー (4)生産機能と栄養						
使用教材	2. 飼料の特性及び給与方法				(1)飼料の特性 (2)飼料給与法 (3)飼料計算						
	「家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)」(日本家畜人工授精師協会) 講師が配付する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精師講習会受講時の免除科目										
講義日程	5/21(火)	3校時	6/4(火)	4校時	6/25(火)	4校時	10/22(火)	3校時	11/12(火)	3校時	
	1/21(火)	3校時	2/4(火)	3校時							

科目名	家畜改良				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	人は、家畜の能力を向上させるため育種改良を重ねてきた。牛では一般の畜産経営者も育種改良の一端を担っており、経営の良否にも大きく影響する。そこで、育種改良の基礎的知識を理解し、経営とどのように関係しているかを学習する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 家畜育種の目的				(1)家畜の改良の歴史 (2)畜産の展開と家畜改良						
	2. 家畜遺伝の原理				(1)遺伝の法則と基礎 (2)質的形質の遺伝 (3)量的形質の遺伝						
	3. 主要形質の遺伝				(1)遺伝標識 (2)遺伝的パラメーター						
	4. 家畜の選抜				(1)育種価 (2)遺伝率 (3)選抜方法						
	5. 家畜の交配				(1)交配の方法 (2)雑種強勢の利用						
	6. 能力検定				(1)乳用牛の改良システム (2)肉用牛の改良システム (3)豚の改良システム						
	7. 家畜の登録制度				(1)ホルスタイン種 (2)黒毛和種						
使用教材	「家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)」(日本家畜人工授精師協会) 参考図書:応用動物遺伝学(朝倉書店)										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精師講習会受講時の免除科目										
講義日程	5/23(木)	4校時	6/6(木)	4校時	6/27(木)	4校時	10/24(木)	4校時	11/14(木)	4校時	
	1/23(木)	4校時	2/5(水)	4校時							

科目名	畜産経営				専攻科目	時期	2学年後期				
講師	農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択			
科目目標	畜種別の経営形態や畜産に関する農業政策について学び、畜産経営に必要な知識を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 畜産政策				(1)畜産業と国内外経済との関わり (2)畜産行政と関連法規						
	2. 経営の形態				(1)日本における畜産業の歴史 (2)畜種別の経営形態 (3)個人経営および法人経営の特徴						
	3. 経営の分析				(1)経営の確立と組織化、法人化 (2)畜産経営の記録手法 (3)畜産経営分析						
使用教材	講師が配付する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度、実技及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	8/27(火)	3~4校時	9/18(水)	4校時	10/2(水)	3校時	11/19(火)	3校時	12/9(月)	4校時	
	12/16(月)	3校時									

科目名	専攻実習Ⅱ (R5年度入校生)			専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	畜産試験場職員 他 農業大学校畜産学部職員				教室	畜産試験場、現地 他				
単位数	2	時間数	90	実習	コマ数	45	区分	必修		
科目目標	専攻分野の専門的な家畜飼養管理及び飼料作物栽培に関する技術知識を体験的に習得する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 家畜の飼養管理				(1)肉牛の飼養管理 (2)乳牛の飼養管理 (3)豚の飼養管理					
2. 飼料作物栽培				(1)飼料作物の播種及び栽培管理 (2)飼料作物の収穫及び調製						
使用教材	講師が配付する資料									
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度、実技及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/9(火)	4/10(水)	4/22(月)	4/24(水)	5/1(水)	5/10(金)	5/14(火)	5/17(金)	6/10(月)	6/11(火)
	6/13(木)	6/14(金)	6/19(水)	6/20(木)	7/1(月)	8/20(火)	8/21(水)	9/12(木)	9/13(金)	9/18(水)
	9/19(木)	9/26(木)	10/8(火)	10/9(水)	10/10(木)	10/11(金)	10/15(火)	10/16(水)	10/17(木)	10/18(金)
	10/31(木)	11/7(木)	11/12(火)	11/15(金)	11/20(水)	11/26(火)	11/29(金)	12/4(水)	12/10(火)	12/12(木)
	12/17(火)	12/19(木)	1/9(木)	1/10(金)	1/15(水)					

科目名	専攻実習Ⅱ (R6年度入校生)			専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	畜産試験場職員 他 農業大学校畜産学部職員				教室	畜産試験場、現地 他				
単位数	3	時間数	135	実習	コマ数	67	区分	必修		
科目目標	専攻分野の専門的な家畜飼養管理及び飼料作物栽培に関する技術知識を体験的に習得する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 家畜の飼養管理				(1)肉牛の飼養管理 (2)乳牛の飼養管理 (3)豚の飼養管理					
2. 飼料作物栽培				(1)飼料作物の播種及び栽培管理 (2)飼料作物の収穫及び調製						
使用教材	講師が配付する資料									
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度、実技及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	R7年度に実施									

科目名	キャリア形成プログラム			専攻科目	時期	2学年前・後期		
講師	畜産関係団体職員 他 県農政部畜産課職員、畜産試験場職員、 北部家畜保健衛生所職員、農業大学校畜産学部職員				教室	畜産試験場他		
単位数	12	時間数	510	講義・実習	コマ数	254	区分	必修
科目目標	自発的な課題設定と課題解決の学習を通し、問題解決能力を高めるとともに、様々な研修を行うことによって専門的な技術・知識を習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 課題研究			(1)課題の設定・計画作成及び実施 (2)課題のまとめ・発表				
	2. 試験研究機関研修			(1)先進的飼養技術の実習				
	3. 技能研修			(1)畜産経営に必要な資格・技術の調査・研修				
	4. 農業生産工程管理			(1)生産活動の持続性の確保について (2)その他関連事項				
使用教材	講師が配付する資料 参考図書:「家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)」(日本家畜人工授精師協会)							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度、試験・レポート、実技、発表会の内容及び報告書で評価する。							
講義日程	4/9(火)～1/24(金)まで通年で実施する。							

科目名	家畜生理解剖Ⅱ			専攻科目	時期	2学年前期				
講師	畜産試験場酪農肉牛部職員、種豚家きん部職員				教室	第1教室				
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	14	区分	選択		
科目目標	家畜の生産性を向上するためには生体の構造や機能の理解が不可欠である。本科目は家畜に特徴的な効率的な生産に関わる生体における構造及び機能について観察や解剖を通じ理解する。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 消化器の構造と生理			(1)胃の構造と消化作用 (2)腸の構造と機能 (3)膵臓の構造と機能 (4)肝臓の構造と機能						
	2. 泌尿器の構造と生理			(1)腎臓の構造と機能						
	3. 呼吸器の構造と生理			(1)肺の構造と機能						
	4. 生殖器官の構造と生理			(1)雄の生殖器官の構造と機能 (2)雌の生殖器官の構造と機能						
使用教材	「家畜の解剖と生理」(養賢堂)、講師が配付する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精講習会受講時の免除科目									
講義日程	4/9(火)	4校時	4/10(水)	4校時	4/12(金)	3校時	4/22(月)	3校時	4/23(火)	3校時
	4/24(水)	3校時	4/26(金)	3校時	5/1(水)	3校時	5/2(木)	3校時	5/10(金)	3校時
	5/13(月)	3校時	5/14(火)	3校時	5/16(木)	3校時	5/17(金)	3校時		

科目名	家畜繁殖				専攻科目	時期	2学年前期				
講師	畜産試験場酪農肉牛部職員、 農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室				
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	14	区分	必修			
科目目標	家畜の生産性向上の要は繁殖である。本科目は家畜の繁殖生理や人工授精の理論及び先端の繁殖技術を理解する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 生殖器及び配偶子の機能形態				(1)性分化と生殖器 (2)配偶子の生理						
	2. 繁殖生理				(1)繁殖とホルモン						
	3. 人工授精				(1)人工授精器具の種類と特徴 (2)精液の保存と注入 (3)消毒の原理と方法 (4)人工授精発展の歴史と実際						
	4. 繁殖の先端技術				(1)受精卵移植技術の現状と実際						
	5. 関係法規				(1)家畜人工授精関係法規						
使用教材	「家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)」(日本家畜人工授精師協会) 参考図書:「家畜比較解剖図説(上・下)」(養賢堂)										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精講習会受講時の免除科目										
講義日程	4/9(火)	3校時	4/10(水)	3校時	4/22(月)	4校時	4/23(火)	2校時	4/25(木)	2校時	
	4/26(金)	2校時	5/1(水)	2校時	5/2(木)	2校時	5/10(金)	2校時	5/13(月)	2校時	
	5/14(火)	4校時	5/15(水)	2校時	5/16(木)	2校時	5/17(金)	2校時			

科目名	環境保全型畜産				専攻科目	時期	2学年後期				
講師	農政部畜産課職員、 畜産試験場草地飼料部職員					教室	第1教室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択			
科目目標	畜産環境の現状及び家畜ふん尿の処理の理論と方法について学習する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 畜産環境の現状				(1)家畜ふん尿処理の現状 (2)環境関係法規						
	2. ふん尿処理の方法				(1)ふん処理の理論と方法 (2)尿処理の理論と方法						
	3. 事例紹介				(1)ふん尿処理優良事例						
使用教材	「家畜ふん尿処理・利用の手引き」(畜産環境整備機構)、講師が配付する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	9/11(水)	2校時	9/18(水)	2校時	10/7(月)	3校時	11/7(木)	3校時	11/13(水)	2校時	
	1/9(木)	2校時	1/15(水)	3校時							

科目名	飼料生産Ⅱ				専攻科目	時期	2学年前期			
講師	畜産試験場草地飼料部職員					教室	第1教室			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択		
科目目標	飼料自給率の高い畜産経営を行うために必要な飼料の生産及び利用技術等を学習する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 飼料作物の栽培・管理				(1)飼料作物の栽培方法 (2)草地の診断法 (3)草地の土壌分析と施肥 (4)放牧草地の管理					
使用教材	講師が配付する資料。参考図書:「目で見える飼料作物のすべて」(酪農総合研究所)、「日本標準飼料成分表」(中央畜産会)									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/24(水)	2校時	5/14(火)	2校時	6/11(火)	2校時	6/18(火)	2校時	7/2(火)	2校時
	7/9(火)	2校時	8/20(火)	2校時						

科目名	飼料生産Ⅲ				専攻科目	時期	2学年後期			
講師	農政部畜産課職員、古川農業試験場作物栽培部職員、農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室、現地			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択		
科目目標	飼料自給率の高い畜産経営を行うために必要な飼料の生産及び利用技術等を学習する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 水田を利用した飼料生産技術				(1)稲ホールクロップサイレージ用稲の栽培技術と利用 (2)飼料用稲の栽培技術と利用					
	2. 食品残さ等の飼料化技術				(1)エコフィードと混合飼料 (2)飼料安全法及び関連法規					
使用教材	講師が配付する資料。参考図書:「目で見える飼料作物のすべて」(酪農総合研究所)、「日本標準飼料成分表」(中央畜産会)									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	8/27(火)	2校時	9/10(火)	2校時	9/13(金)	3校時	9/20(金)	3校時	9/27(金)	1~3校時

科目名	畜産実験				専攻科目	時期	2学年前期				
講師	農業大学校畜産学部職員					教室	現場教室、畜産試験場他				
単位数	1	時間数	30	実験	コマ数	15	区分	必修			
科目目標	家畜の構造及び機能について観察や解剖を通じ理解する。畜産物の加工技術、飼料作物の分析の基本を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 家畜解剖				(1)生殖器の解剖						
	2. 畜産物加工				(1)乳製品及び肉製品の加工実習						
3. 飼料分析				(1)収量調査・飼料分析法							
使用教材	「家畜の解剖と生理」(養賢堂)、講師が配付する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。 家畜人工授精師講習会受講時の免除科目										
講義日程	4/10(水)	2校時	4/25(木)	3~4校時	4/30(火)	3~4校時	5/8(水)	1~4校時	5/9(木)	1~4校時	
	5/15(水)	3~4校時									

科目名	就業体験研修				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室、現地				
単位数	2	時間数	60	演習	コマ数	30	区分	選択			
科目目標	企業や産業の現場などの実情を知り、また、体験することにより自己の職業生活への意欲や目的意識を高める。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 研修準備				(1)概要とその実施方法ならびに計画の説明 (2)自己紹介カード作成 (3)訪問企業との打合せ方法						
	2. 就業研修				(1)就業研修 (2)研修報告						
使用教材	講師が配付する資料										
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	6/10(月)	3校時	6/13(木)	3校時	6/20(木)	3校時	7/2(火)	4校時	7/11(木)	4校時	
	7/31(水)~8/16(金)のうち5日間				1~4校時						
	8/19(月)	3校時	8/26(月)	3校時	9/9(月)	3校時	9月10日	3~4校時			

科目名	家畜生産特論(R5年度入校生)				専攻科目	時期	2学年後期			
講師	畜産試験場職員、北部家畜保健衛生所職員、 農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室、畜産試験場他			
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	選択		
科目目標	家畜に関わる専門的技術を幅広く学習する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 家畜人工授精				(1)繁殖生理(直腸検査) (2)関係法規					
	2. 家畜衛生				(1)家畜伝染病予防法 (2)飼養衛生管理基準 (3)病原体と消毒					
	3. 新技術の活用				(1)分娩監視装置 (2)発情発見補助装置 (3)超音波画像診断装置					
使用教材	「家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)」(日本家畜人工授精師協会) 講師が配付する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及びレポート等で評価する。									
講義日程	8/21(水)	3校時	8/26(月)	2校時	9/11(水)	3校時	9/19(木)	3校時	9/26(木)	2校時
	10/3(木)	3校時	10/18(金)	3校時	11/8(金)	3校時	11/12(火)	4校時	11/14(木)	3校時
	12/10(火)	4校時	12/11(水)	4校時	12/17(火)	3校時	1/10(金)	3校時	1/14(火)	3校時

科目名	家畜生産特論(R6年度入校生)				専攻科目	時期	2学年前・後期			
講師	畜産試験場職員、北部家畜保健衛生所職員、 農業大学校畜産学部職員					教室	第1教室、畜産試験場他			
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	選択		
科目目標	家畜に関わる専門的技術を幅広く学習する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 家畜人工授精				(1)繁殖生理(直腸検査) (2)関係法規					
	2. 家畜衛生				(1)家畜伝染病予防法 (2)飼養衛生管理基準 (3)病原体と消毒					
	3. 新技術の活用				(1)分娩監視装置 (2)発情発見補助装置 (3)超音波画像診断装置					
使用教材	「家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)」(日本家畜人工授精師協会) 講師が配付する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及びレポート等で評価する。									
講義日程	R7年度に実施									

科目名	削蹄 I (R5年度入校生)				専攻科目	時期	2学年後期			
講師	指導級認定牛削蹄師 遠藤 強 氏他を実務経験者として招聘					教室	畜産試験場、畜産農家他			
単位数	2	時間数	90	実習	コマ数	45	区分	選択		
科目目標	牛の削蹄の理論と削蹄の基礎技術を習得する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 削蹄の理論				(1)肢蹄の構造と機能 (2)肢蹄の解剖生理 (3)肢蹄の病理					
2. 削蹄の実技				(1)削蹄用具の利用方法 (2)削蹄の基本技術と実技						
使用教材	未定									
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び実技で評価する。									
講義日程	10/8(火)	2～4校時	10/9(水)	2～4校時	10/10(木)	2～4校時	10/11(金)	2～4校時	10/15(火)	2～4校時
	10/16(水)	2～4校時	10/17(木)	2～4校時	10/21(月)	2～4校時	10/22(火)	2～4校時	10/23(水)	2～4校時
	10/24(木)	2～4校時	10/28(月)	2～4校時	10/29(火)	2～4校時	10/30(水)	2～4校時	11/18(月)	2～4校時

科目名	削蹄 I (R6年度入校生)				専攻科目	時期	2学年後期			
講師	指導級認定牛削蹄師 遠藤 強 氏他を実務経験者として招聘					教室	畜産試験場、畜産農家他			
単位数	3	時間数	90	講義、演習、実習	コマ数	45	区分	選択		
科目目標	牛の削蹄の理論と削蹄の基礎技術を習得する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 削蹄の理論				(1)肢蹄の構造と機能 (2)肢蹄の解剖生理 (3)肢蹄の病理					
2. 削蹄の実技				(1)削蹄用具の利用方法 (2)削蹄の基本技術と実技						
使用教材	未定									
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び実技で評価する。									
講義日程	R7年度に実施									

科目名	削蹄Ⅱ			専攻科目	時期	2学年後期		
講師	農業大学校畜産学部職員				教室	講習会会場		
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択
科目目標	公益社団法人日本装削蹄協会が主催する2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験を受験し、削蹄技術を習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 削蹄の学科講習			(1)肢蹄の生理, 解剖, 疾病 (2)基本削蹄法				
2. 削蹄の実技講習			(1)基本削蹄法 (2)過長蹄の処置					
使用教材	未定							
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び実技で評価する。							
講義日程	11/21(木)	2～4校時	11/22(金)	1～4校時				

科目名	乳牛飼養管理			専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	畜産試験場酪農肉牛部職員				教室	畜産試験場				
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	必修(酪農専攻)		
科目目標	乳用牛の飼養管理に必要な専門知識を習得する。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. 乳牛と環境			(1)乳牛をとりまく環境 (2)環境に対する乳牛の適応						
	2. 哺育と育成			(1)子牛の哺育管理 (2)育成牛の飼養管理						
	3. 泌乳と乾乳			(1)乳腺の発育 (2)乳の生合成と泌乳期における体器官の適応 (3)搾乳の生理と乳量及び乳成分に影響する要因 (4)乾乳牛の飼養管理						
	4. 乳牛の行動			(1)行動と心理 (2)摂食行動と飼料給与 (3)休息・運動・排泄行動 (4)社会行動と牛群管理						
	5. 育種と繁殖			(1)雄牛の選び方 (2)繁殖技術と分娩管理						
	6. 畜舎環境等			(1)畜舎及び付帯施設						
	7. 衛生管理			(1)衛生対策 (2)疾病と対策						
	8. 飼料計算			(1)パソコンによる飼料計算						
使用教材	「乳牛管理の基礎と応用」(デーリイジャパン社)、「日本飼養標準(乳牛)」(中央畜産会) 講師が配付する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/23(火)	4校時	6/11(火)	4校時	6/19(水)	3校時	7/4(木)	4校時	8/20(火)	3校時
	9/12(木)	3校時	9/26(木)	3校時	10/4(金)	3校時	11/7(木)	4校時	11/19(火)	4校時
	11/26(火)	4校時	12/9(月)	3校時	12/18(水)	3校時	1/9(木)	3校時	1/16(木)	3校時

科目名	肉牛飼養管理				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	畜産試験場酪農肉牛部職員				教室	畜産試験場					
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	必修(肉牛専攻)			
科目目標	肉用牛の飼養管理に必要な専門知識を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 繁殖雌牛の飼養管理				(1)初生子牛の管理 (2)子牛の育成と飼養管理 (3)雌牛の導入 (4)雌牛の飼養管理 (5)繁殖の基礎と管理 (6)繁殖管理 (7)受精卵移植技術 (8)分娩時の管理						
	2. 肥育牛の飼養管理				(1)素牛の選定と導入 (2)給与飼料 (3)育成及び肥育期間(前期・中期・後期)の飼養管理						
	3. 畜舎環境等				(1)畜舎及び付帯施設						
	4. 衛生管理				(1)衛生対策 (2)疾病と対策						
	5. 飼料計算				(1)パソコンによる飼料計算						
使用教材	「どんどんよくなる肥育管理」(日本畜産振興会)、「さらによくなる子牛生産」(日本畜産振興会)、「日本飼養標準(肉牛)」(中央畜産会)、講師が配付する資料、参考図書:「まだまだよくなる繁殖経営」(日本畜産振興会)										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	4/23(火)	4校時	6/11(火)	4校時	6/19(水)	3校時	7/4(木)	4校時	8/20(火)	3校時	
	9/12(木)	3校時	9/26(木)	3校時	10/4(金)	3校時	11/7(木)	4校時	11/19(火)	4校時	
	11/26(火)	4校時	12/9(月)	3校時	12/18(水)	3校時	1/9(木)	3校時	1/16(木)	3校時	

科目名	豚飼養管理				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	畜産試験場種豚家きん部職員				教室	畜産試験場					
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	必修(養豚専攻)			
科目目標	豚の飼養管理上の必要な専門知識を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 繁殖雌豚の飼養管理				(1)基本的な飼養管理 (2)妊娠期の飼養管理 (3)分娩期の飼養管理 (4)離乳・交配時期の飼養管理						
	2. 種雄豚の飼養管理・人工授精				(1)種雄豚の繁殖管理 (2)精液の採取及び処理 (3)授精(交配)適期						
	3. 子豚の飼養管理				(1)離乳とストレス (2)飼養管理						
	4. 肥育豚の飼養管理				(1)群編成と飼育密度 (2)栄養管理 (3)飼料給与法						
	5. 畜舎環境等				(1)畜舎及び付帯施設						
	6. 衛生管理				(1)衛生対策 (2)疾病と対策						
	7. 飼料計算				(1)パソコンによる飼料計算						
使用教材	講師が配付する資料。参考図書:「PIG SIGNALSシリーズ」(有限会社ベネット)										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	4/23(火)	4校時	6/11(火)	4校時	6/19(水)	3校時	7/4(木)	4校時	8/20(火)	3校時	
	9/12(木)	3校時	9/26(木)	3校時	10/4(金)	3校時	11/7(木)	4校時	11/19(火)	4校時	
	11/26(火)	4校時	12/9(月)	3校時	12/18(水)	3校時	1/9(木)	3校時	1/16(木)	3校時	